



ハリウッド女優のアンジェリーナ・ジョリーさんは、母を卵巣がんで亡くしており、自分ががんになりやすい体質かもしれないと知り、遺伝カウンセリングを受けて遺伝子の検査を受ける決心をしました。その結果、自分が母と同じ乳がんや卵巣がんになりやすい遺伝子の変化を持つ事がわかり、まだがんになっていない乳房と卵巣・卵管を、予防的に手術で切除する選択をされました。日本でも令和2年度より一部の施設において適応している方に保険で手術が実施されています。またこの遺伝子の変化があると効きやすいお薬も開発されています。

ご自分も含めご家族に、乳がんになった人や卵巣がんになった人が複数おられますか？あなたが遺伝性乳がん卵巣がん症候群である可能性はありますか？

☆乳がん・卵巣がん・膵臓がん・前立腺がんと診断されたことのある方は、主治医にご相談頂くか、遺伝カウンセリング室へお尋ねください。
☆がんになったことのない方は、遺伝カウンセリング室へお尋ねください。



徳島大学病院 遺伝カウンセリング室

予約受付時間： 平日 9時～17時

TEL： 088-633-9218



遺伝カウンセリング料 5,500円（60分）

遺伝子の検査は別途費用が必要となります。

詳しく知りたい方はお問い合わせください。



遺伝性乳がん・卵巣がん症候群

(hereditary breast and ovarian cancer syndrome, **HBOC**)

遺伝やがんについて悩んでいませんか？



そんなときは、遺伝カウンセリングへ

徳島大学病院
遺伝カウンセリング室

遺伝カウンセリングとは？

まず、あなたの病歴と家族歴を伺います
家族歴から家系図を作成し、遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）か、他の遺伝性のがんか、または一般的ながんかどうか、一緒に考えていきます（遺伝カウンセリングまでに、親族の情報を集めていただくと役立ちます）。

遺伝や遺伝子・染色体、遺伝性のがんと遺伝子検査などについて、お知りになりたいことや、必要な情報をお伝えします。

遺伝子の検査を受ける場合、検査前後に遺伝カウンセリングを行います。検査のメリット・デメリットは人によって異なるので、遺伝カウンセリングで説明いたします（保険の検査は主治医から説明があります）。

治療や遺伝子以外の検査については、各科専門の外来（乳腺外科・婦人科・消化器内科・泌尿器科など）をご紹介することも可能です。

健康な方でも、がんや遺伝のことでお悩みでしたら、ご相談ください。

以下の項目にあてはまりませんか？

- 血縁者で BRCA (HBOC) 陽性が判明している
- ご自身が乳がん^{乳がん}と診断されていて、かつ以下のいずれかに該当する
 - 45 歳以下で乳がん^{乳がん}と診断された
 - 両側の乳がん^{乳がん}（同時性あるいは異時性）と診断された
 - 片側の乳房に複数回乳がん^{乳がん}（原発性）を診断された
 - 46～50 歳で乳がん^{乳がん}と診断されていて、血縁者に乳がん^{乳がん}または中等度以上の悪性度の前立腺がん^{前立腺がん}と診断された方がいる
 - 60 歳以下でトリプルネガティブの乳がん^{乳がん}と診断された
 - 血縁者に卵巣がん^{卵巣がん}、転移性の前立腺がん^{前立腺がん}、膵臓がん^{膵臓がん}、50 歳以下の乳がん^{乳がん}いずれかの診断を受けた人が 1 人以上いる
 - 血縁者が男性で乳がん^{乳がん}と診断された
- ご自身が男性で乳がん^{乳がん}と診断された
- ご自身が卵巣がん^{卵巣がん}（卵管がん、腹膜がん含む）と診断された
- ご自身が膵臓がん^{膵臓がん}と診断された
- ご自身が転移性の前立腺がん^{前立腺がん}と診断された

遺伝性乳がん卵巣がん症候の原因遺伝子

乳がんや卵巣がんになった方の一部に、BRCA1 や BRCA2 という遺伝子に、がんの体質と関わる変化があることがわかっており、HBOC と呼ばれています。HBOC は乳がんや卵巣がん、前立腺がんや膵臓がんになりやすい体質のことで BRCA1/2 遺伝子の変化は、次の世代に 50%の確率で伝わります。BRCA1/2 遺伝子検査によって、あなたが乳がんや卵巣がんになりやすいことがわかった場合、がんの予防や再発について知り、定期的に検診を受けることが早期のがん発見と治療につながります。

HBOC 関連遺伝子検査の Q and A

Q：検査に危険はありませんか？

A：通常の採血と同じです。

Q：保険は適用されますか？

A：乳がん・卵巣がん・膵臓がん・前立腺がん^{乳がん・卵巣がん・膵臓がん・前立腺がん}と診断された方で適用される場合があります。がん未発症の方は自費の検査になります。

